

令和2(2020)年度第5回北海道環境審議会地球温暖化対策部会(書面開催)委員意見等

(1)資料1 第3回及び第4回部会における主な意見

特に意見なし

(2)資料2-1 北海道地球温暖化対策推進計画(部会案)本編

No.	委員名	頁	項目等	意見概要	対応方針
1	藤井部会長 武野委員	3	2 本計画の位置づけと期間	10年計画だが、短期間で見直すこと。順応的に見直すということを書いておいたらいと思うが、書きにくいということであれば、少なくともマインドとしては持っておいていただきたいと思う。	本編p18の記述を精査するとともに、本編p3にも記載を追加します。
2	中村委員	6	(2)中期目標	削減目標の算出過程は計画内に示されるのか。	資料編(P11～12)に示しております。
3	武野委員	6	(2)中期目標 森林等による 吸収量	森林等による吸収量が緑で表示されているが、2013年の基準年では緑色のゾーンが全くない。ゼロだった訳ではないだろう。どのように評価して表示するのか不明なため、分かりやすくした方がよい。	本編p6の図を修正します。
4	山野井専門委員	6	(2)中期目標 森林等による 吸収量	年によってグラフの意味が異なってしまっているの、見せ方を工夫してほしい。	本編p6の図を修正します。
5	宮森専門委員	12	2030年度に向けた取組の補助指標③	クリーン農業に取り組む農業者を認定する制度と書いてあるが、その3000名というのは、北海道農業に取り組んでいる人たちの中で、何%ぐらいになるのか載っていると、よりわかりやすくなるのではないかと。今、農業に取り組んでる人の中の3000名ほどのぐらいの位置付けなのか、そのデータを入れてはどうか。	指標の説明に誤りがありましたので修正するとともに、代替指標も含め検討してまいります。
6	中津川委員	15	8 2050年のゼロカーボン北海道のイメージ	2030年には具体的にどういうものを実現するという図などを示せると良い。	今後の普及啓発の中で検討してまいります。
7	小林委員	17	9 計画の推進体制等 期待される取組	可能であれば、事業者が省エネ機器を導入する際にどれぐらいの費用負担が生じるかについてわかる資料がほしい。	今後の普及啓発の中で検討してまいります。
8	菅井委員	18	計画の見直し	削減目標にアフターコロナの影響などは考慮しているのか。	現時点でその影響を計ることは困難と考えております。今後、社会経済情勢の変化などを踏まえ、計画を見直してまいります。
9	東條委員	—	今後の参考	今回の検討はこれで良いが、国の施策の効果と道の施策の効果の割合を把握出来れば、より考察が深まると思うので、今後の検討の参考にしてほしい。	今後の参考とさせていただきます。

(3)資料2-2 北海道地球温暖化対策推進計画(部会案)対策・施策編

No.	委員名	頁	項目等	意見概要	対応方針
1	栗田専門委員	4	次世代自動車などの導入促進	対策・施策の一番最初に水素自動車が出てこない方がよいのではないかと。目標9000台で、というのもよく分かるが、最初に水素とされているのに、削減イメージの中では、水素は全く数に入れていないので、整合性がとれないのではないかと。	文言を精査します。

No.	委員名	頁	項目等	意見概要	対応方針
1	宮森専門委員	10	(3)個人の行動変容関連	(3)個人の行動変容関連で、後ろ向きな表現が気になったので、もっと快適性、健康性、利便性を向上させるというようなプラスの言葉にしていきたい。	文言を精査します。
2	武野委員	11	食品ロスの削減推進の取組	食品ロスを削減するのは当然だが、前回発言は、生産段階や輸送段階のロスも低減させることができるということを伝えたつもり。 入れていただけるのであれば、一行目の食品ロスの下に、食品ロスは、生産や輸送段階でのエネルギーロスにも繋がるので、削減に努めるといった全体の流れを表現してはどうか。	文言を精査します。

(4)資料2-3 北海道地球温暖化対策推進計画(部会案)資料編

No.	委員名	頁	項目等	意見概要	対応方針
1	小林専門委員	8	表 部門別の主な増減要因	排出量実績の話には、前年度との比較は不要では。	「前年度比」の部分を削除します。
2	中津川委員	11	削減目標の算出方法	国の計画が数字の基であることを出典を明記すべき。	出典を明記します。

(5)資料3 2030年度削減目標について

No.	委員名	頁	項目等	意見概要	対応方針
1	小林専門委員	6-9	【参考】削減イメージ	取組の効果を計画にも書けないか。	今後の普及啓発の中で検討してまいります。